

令和6年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)	部局名	議会事務局
款	項	目			課 名	議事課
1	1	1	議会費	138		

I：事業概要

施策事業名	議会管理
事業目的	議会運営及びそれに係る事務の適切な執行のため。
事業内容	●全体計画 議会を適切に運営し、議決事件を審議、議決するとともに、議事機関として政策提案等を行う。 ●主な事業内容 ○議会事務 ・タブレット端末の貸借及びライブ字幕表示システムの導入 並びに議員・職員の資質向上に関する書籍等の購入 ○議会広報・広聴 ・議会録画映像・会議録のインターネット配信、議会報の発行、市民との意見交換会の開催 ○議会会議録作成 ・本会議・委員会・全員協議会の議事録作成・保存 ○正副議長公務 ・各種議長会の定期総会への出席及び姉妹都市との交流 ○行政視察・交流 ・先進自治体調査のための委員会行政視察の実施 ○政務活動費 ・議員の調査研究のための経費を交付 ●主な決算の内訳 タブレット端末、ペーパーレス会議・グループウェアシステム使用料 2,169,753円 ライブ字幕表示システム使用料 292,600円 議会録画映像インターネット配信業務 2,605,680円 会議録作成業務 4,015,525円 政務活動費 2,348,012円
事業の成果・効果	議会運営及びそれに伴う事務が適切に執行できている。

II：個別事業内訳 (単位：千円) (見直し・点検進捗評価は4段階)

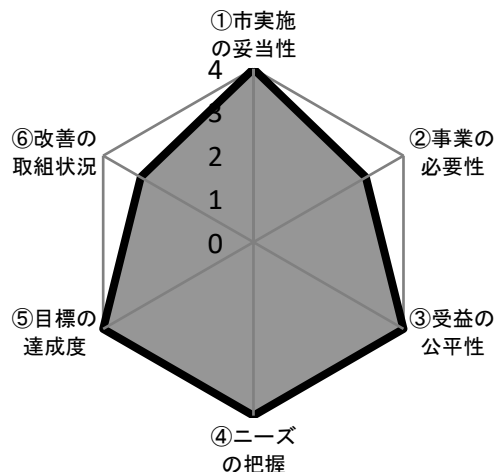
事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務の効率化
議会事務	3,496	0	3,496	100%	4	4	4
議会広報・広聴	6,355	0	6,355	100%	3	4	4
議会会議録作成	4,016	0	4,016	100%	4	4	4
正副議長公務	1,500	0	1,500	100%	4	4	4
行政視察・交流	1,366	0	1,366	100%	4	4	3
政務活動費	2,349	0	2,349	100%	4	4	4
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	19,082	0	19,082	100%	3	4	3

Ⅲ：年度別事業費の状況

(単位：千円)

事業費		R5決算	R6決算	R7予算
		17,728	19,082	22,958
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	17,728	19,082	22,958
一般財源の割合		100%	100%	100%

評価チャート



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	議会は地方自治法第96条に定める議決事件を審議、議決し、会議録を作成する義務がある。
②事業の必要性	3	経済危機等で当市の財政状況が著しく悪化した場合においては、議会録画中継インターネット配信、議会だよりの印刷、姉妹都市交流等は、見直しが必要な事業である。
③受益の公平性	4	議会が議決する条例や予算は、全市民が対象であり、多数の市民が恩恵を受けるものである。
④ニーズの把握	4	請願や陳情を受理し、市民以外の意見も聴取している。
⑤目標の達成度	4	・本会議でのライブ字幕表示システムを導入した。 ・議会中に火災や災害が発生した場合を想定した訓練を実施した。
⑥改善の取組状況	3	・議会だよりにリニューアルに向けての編集方針を作成した。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和6年度に見直しを実施した事項	・本会議でのライブ字幕表示システムの導入 ・議会中に火災や災害が発生した場合を想定した訓練の実施 ・議会だよりにリニューアルに向けての視察及び編集方針の作成
令和7年度に見直しを実施している事項	・ライブ配信を安定的に行うための議場・委員会室のインターネット配線工事 ・議会だよりのリニューアル
今後見直しを検討する事項	・議場・委員会室の会議システムの更新

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和6年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
新庁舎建設から15年が経過し、議場・委員会室の会議システムに異常が発生している。	議場・委員会室の会議システムの更新には多額の経費がかかるため、他自治体の更新内容や経費を参考に更新が必要な範囲を見極め、できるだけ更新費用を抑えることができるように仕様書の作成に取り組んでいく。